2018.05.02

安全データシート

作成日：2018年5月2日

1.化学品及び会社情報

製品の名称：プッシュ綿棒PF
会　　社：ハクゾウメディカル株式会社
住　　所：大阪市中央区徳井町2-4-9
担 当 部 門：研究開発部
電 話 番 号：06-6942-0390
ファックス：06-6942-2662

2.危険有害性の要約（100%ポビドンヨード）

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性　　：区分2

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

：区分1

環境に対する有害性

水生環境急性有害性　　：区分2

水生環境慢性有害性　　：区分2

絵表示またはシンボル



注意喚起語：危険

危険有害性情報：

重篤な眼の損傷

皮膚刺激

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

注意書き安全対策：

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、顔面保護具を装着すること。

環境への放出を避けること。

取扱い後は、多量の水と石鹸でよく洗うこと。

緊急対応

眼に入った場合

：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せない場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

皮膚（髪）に付着した場合

：多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激を生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
流出物を回収すること。汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。特別な処置が必要である。

廃棄

適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

分類に関係ない他の危険：本品は、条件によっては粉塵爆発を起こす可能性がある。

3.組成及び成分情報

成分及び含有量：ヨウ化ポリビニルピロリドン
濃　　度：ポビドンヨード10%
添　加　物：エタノール、ラウロマクロゴール、グリセリン、pH調整剤
官報公示整理番号：化審法　（9）－1363　安衛法（9）－1363
CASNo.　　：25655-41-8

4.応急措置

一般的なアドバイス

：汚れた衣服は取り替える。

吸入した場合

：安静にし、新鮮な空気の場所に移動させ、医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合

：石鹸と水で完全に洗い流すこと。

眼に入った場合

：直ちにまぶたを開き流水で 15 分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合

：直ちに口をすすぎ多量の水を飲ませた後、医師の手当を受ける。

医師への注意事項

：処置；症状に応じて処置（洗浄・機能回復）を講じる。

5.火災時の措置

消　　火　　剤：噴霧水、二酸化炭素、粉末、乾燥砂、泡
特定の危険有害性：シアン化水素、ヨウ素、二酸化炭素、窒素酸化物
消火を行う者の保護：自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用のこと。
追　加　情　報：汚染された消化廃水は法令に従って適切に処分する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
：蒸気/粉塵/エアゾールに暴露される場合は、呼吸保護具を着用すること。十分な換気を確保すること。
皮膚、眼、衣服への接触を避ける。
環境に対する注意事項：排水溝等に流出させない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
：大量の場合；掃き集めるかすくい取る。法令に従って吸着剤を廃棄すること。
残渣の場合；掃き集めるかすくい取る。法令に従って吸着剤を廃棄すること。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項
大量に取扱う際には十分な換気を行うこと。空気運輸には窒素のみを使用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。
安全取扱い注意事項
：粉塵を発生させない。静電気防止対策をとる。発火源を近付けない。消火器常備のこと。
保管上の注意事項
保管条件に関する追加情報
：容器は密閉して乾燥した空気の良い冷暗所に保管する。
保管安定性：保管温度≦25℃

8.ばく露防止及び保護措置

職場管理基準のある構成成分：なし
保護具：
呼吸用保護具：呼吸器保護具（もしエアゾール/粉塵が発生した場合）固定粒子に対して低効率の微粒子フィルター（例：EN143 もしくは 149 タイプ P1 もしくは FFP1)。
手の保護具：長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋（EN374）（保護指針 6 に準ずることが望ましい。EN374 によると、透過時間は 480 分以上であること）：ニトリルゴム（0.4mm)、クロロプレンゴム（0.5mm)、ブチルゴム（0.7mm）など。
補足：仕様は、試験、文献データ及び手袋製造業の情報に基づくもの、あるいは類似の

物質から類推されたものである。条件が多いため（温度など）耐薬品性保護手袋の実際の使用時間は試験で別途得られた物質透過時間よりもかなり短いと考えなければならない。

眼の保護具：ゴーグル型保護メガネ（ケージゴーグル）（EN166 準拠）および顔面シールド

一般的な安全及び衛生対策：労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。汚れた衣服は取り替える。作業後に手洗い、洗眼をする。皮膚保護剤の使用による皮膚の保護が、推奨される。

9.物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：暗赤褐色の液

臭い：特異な臭い

pH ：3.0～5.5

溶解度、溶媒：水、エタノール

10.安定性及び反応性

混触危険物質：還元剤、金属

危険有害な分解生成物：通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

11.有害性情報（100%ポビドンヨード）

急性毒性

急性毒性の評価：単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。

実験または計算によるデータ

LD_{50}（半数致死量）　ラット（経口）：＞4,640mg/kg

LD_{50}（半数致死量）　ラット（経皮）：＞2,500mg/kg（BASF 試験）

刺激性

刺激性作用の評価：皮膚を刺激する。眼に重篤な損傷のリスクがある。

実験または計算によるデータ：皮膚腐食性/刺激性　ウサギ：（OECD テストガイドライン 404）

眼に対する重篤な損傷/刺激　ウサギ：（OECD テストガイドライン 405）

呼吸器/皮膚感作性

感作性の評価：動物実験では、皮膚感作性は認められなかった。

実験又は計算によるデータ：モルモットに対する maximization 法 モルモット：（OECD テストガイドライン 406）

生殖細胞変異原性

変異原性の評価：多くの研究によると、変異原性の証拠は認められない。

発生毒性

催奇形性の評価：動物実験では、発生毒性/催奇形性は認められなかった。

12.環境影響情報（100%ポビドンヨード）

環境毒性

水生生物に対する毒性の評価：水生生物に対し急性毒性を示す。廃水処理施設に低温度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

魚類に対する毒性：LC_{50}（半数致死量濃度）（96h）＞4.6-10mg/L、ウグイ（学名Leuoiscus idus）（DIN38412 第15部、止水式）
毒性作用の詳細は、名目濃度に関連性あり。

水生無脊椎動物：EC_{50}（48h）2.79mg/L、オオミジンコ（学名Dephnia magna）（OECDテストガイドライン201-1、止水式）
毒性作用の詳細は、名目濃度に関連性あり。

水生植物：EC_{50}（72h）4.91mg/L（成長率）、緑藻（学名Desmodesmus subspioatue）（OECDテストガイドライン201-1、止水式）
毒性に関する記述は、実測濃度による。

微生物/活性汚泥への影響：EC_{50}（10%影響濃度）（17h）2701mg/L、プチダ菌（Pseudomonas putida）（DIN38412第8部、好気性）
毒性作用の詳細は、名目濃度に関連性あり。

残留性及び分解性

除去情報：＜20%DOC減少（3h）（OECDテストガイドライン302B）（好気性、家庭廃水由来の活性汚泥、順化済み）
＜10%（28 日）（ISO 14593）（好気性、家庭廃水由来の活性汚泥）

13.廃棄上の注意

国または地方の法定事項に従うこと。

14.輸送上の注意（ポビドンヨードとして）

国際陸上輸送

危険クラス　：9
容器等級　　：Ⅲ
ID番号　　：UN3077
危険ラベル　：9、EHSM

海上輸送
危険クラス　：9
容器等級　　：Ⅲ
ID番号　　：UN3077
危険ラベル　：9、EHSM
海洋汚染物質　：該当

航空輸送
危険クラス　：9
容器等級　　：Ⅲ
ID番号　　：UN3077
危険ラベル　：9、EHSM

15.適用法令

消　防　法：非危険物
船舶安全法：有害性物質（JP）

16.その他の情報

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを前提としたものなので、これらを参考にして、自らの責任において、個々の取扱いにおいて適切な安全策・適切な処置をとられますよう、お願いします。